

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名 ソフトピアジャパン・センタービル I A M A S 用途改修工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業技術課 I T 利用促進室 I T 拠点活用推進係

電話番号：058-272-1111 (内 3051)

E-mail: c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 44,161 千円 (前年度予算額：4,686 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収入	寄 附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,686	0	0	0	0	0	0	3,500	1,186
要求額	44,161	0	0	0	0	0	0	0	44,161
決定額	44,161	0	0	0	0	0	0	33,100	11,061

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ソフトピアジャパン・センタービルは、I T 関連企業が使用する入居施設と県民が使用する一般貸出施設の他、情報科学芸術大学院大学 (I A M A S) が使用している。

令和2年度から一般貸出施設の一部を I A M A S に移管する予定であるが、学校の用に供する場合、建築基準法令第114条第2項に準じた防火上主要な間仕切壁を準耐火構造に改修する必要がある。

加えて、センタービル12階は、建設時レストラン用途であったところを学校用途と指定管理者の用途に分けるため、電気系統をわける必要がある。

(2) 事業内容

ソフトピアジャパン・センタービルの一部を、I A M A S の用途に変更するための改修を行う。

3 事業費の積算内訳

(千円)

	R 3	R 4	計
工事請負費	0	41,759	41,759
委託料(実施設計)	3,585	2,152	5,737
事務費	21	209	230
証紙、印紙代		41	41
合計	3,606	44,161	47,767

(事務費内訳) 旅費31、消耗品86、燃料費15、役務費77

決定額の考え方

財源に県債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

II ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

1 モノをつくって、地域外からお金を稼ぐ地域をつくる

◆ソフトピアジャパンのIT関連企業の集積や優れた情報基盤を活用し、地域産業の高度化を担う産業人材を育成・供給し、地元のIT企業の競争力を強化する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ソフトピアジャパン・センタービルの一部を、IAMAS（学校）の用途に変更するための改修（実施設計、改修工事）を行い、令和5年度からの供用を開始する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R)	
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

本事業はソフトピアジャパン・センタービルの貸出施設の一部をIAMASの用途に変更するものであり政策的な指標は設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・令和3年度からの事業のため該当なし
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	I AMAS の「博士後期課程」の新設に伴う用途変更に係る改修であり、供用開始までに実施する必要がある。
2	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 I AMAS の「博士後期課程」の新設に伴い、供用開始までに計画どおり改修を実施する。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和3年度の実施設計をもとに令和4年度に改修を行う。 (改修は令和4年度で完了)

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】